

LPガスのエンジン、地元・浜松での社会貢献に本腰 空室問題解消などで相乗効果

液化石油(LP)ガスを中心とするエネルギー企業のエンジン(浜松市中区)が地域への社会貢献活動に本腰を入れている。「より深く地域に根差し、なくてはならない存在を目指す」(藤田源右衛門社長)との考えから、ガス供給エリアのアパート経営者らとともに空室問題解決に取り組み、祭りや防災訓練を支援するなど社を挙げた活動が特徴だ。

同社は、企業の社会的責任(CSR)としてLPガスの安定供給や従業員の雇用維持・拡大、金融機関・取引先との安定取引、十分な納税、株主配当、防災対策を挙げるが、それだけでは不十分と考え、地域への社

会貢献活動を積極化することにした。その活動は地元でも注目されている。

中でも評判の良いアパートの空室問題解消に向けた支援活動は、同社営業企画部門が中心となっている。アパートオーナーである地主の関心事が、資産の承継問題であることも多いという。そうした承継問題はもちろん、その前提として必要となる空室の少ない安定したアパート経営も支援する。ガス会社の同社には、アパートの住人も重要な顧客。空室解消はエネルギー供給の増加にもつながる。

必要に応じて工務店をアパートオーナーに紹介するなど、顧客同士のマッチングも進め、地

域内で相乗効果を生み出せるよう配慮しているという。

小学生を対象に開催しているミニサッカースクールもユニークな取り組みだ。地域のシステムキッチンやシステムバスなどの住宅設備メーカーとタイアップし、運動と入浴、食を含めた健康をテーマにしたイベントなどを実施。これら住民やスクールと地元の企業や「食」などをマッチングする面がある。

ほかにも、大学生と地元企業の就職をテーマにしたマッチングイベントや、防災活動支援などを通じた地域のコミュニティづくりなどを展開してきた。

「これらの活動一つ一つは直接自社の事業に結びついている



社会貢献活動として実施された「火育授業」での火起こし体験

わけではないが、これらを通じて地域に貢献することは、今後地域から選ばれる企業になるための条件だ」(同)

エネルギー分野の自由化が進む中で、選ばれる企業とはどういったものか。エンジンは、地域の人や企業の結束を強め、これらを地域の活性化につなげていくことで、選ばれる企業として自らの発展を目指そうとしている。

■会社概要

- ▷本社=浜松市中区高林5-6-31
- ▷設立=2004年1月
- ▷資本金=9000万円
- ▷従業員=214人(17年4月時点)
- ▷事業内容=事業用・家庭用LPガスの販売、ガス機器や石油器具などの販売、燃料設備や冷暖房設備などの工事、住宅建築・リフォームなど

2017年(平成29年)6月14日(水)

フジサンケイビジネスアイ新聞